

共生・公正・創造



# ユニオン・EYE

<http://www1a.biglobe.ne.jp/jrtu-EWU>

ジェイアール東日本労働組合

〒108-0014 東京都港区芝5丁目33番36号

TEL(NTT)03-3453-2107 (JR)057-2290

発行者/今井 伸 編集者/平 憲治

## 【東労組の内部抗争、最近の動き！ シリーズ7】

# 「組織転勤は労使結託か！」と嶋田のHp

(嶋田たちのホームページ2006.05.03、2006.6.7より、一部要約抜粋)

【2006.05.03】東京地本小澤副委員長が2月の地方委員会で突如退任し、品川駅営業主任から4月1日千葉支社管内新検見川駅助役として転勤した。任期半ばでの辞任であり組合員への背信行為である。地方委員会で辞任するという前作業を行っているのだ。小澤前副委員長が転勤できたのは、JR東労組がゴリ押しした結果と推察できる。・・・ダイヤ改正に合わせて蘇我運輸区が誕生し、分会長に地本副委員長も兼任している川又某が就任した。やはり地方委員会以降、専従を解除された。蘇我運輸区を彼ら「本部派」の拠点にするために、多くの職場から「本部派役員」をかき集める必要があったのである。・・・もう一人やはり地方委員会以降、専従を解除された人がいる。千葉地本の長谷川組織部長である。「長谷川さんは駄目だから」と言われる程度の人である。彼は、すでに会社との間でエルダーでの「再就職先」が決まっているという。自分の出向先確保のために専従解除か！・・・

千葉地本の組織体制確立のための「組織転勤」は千葉の組合員無視だ！この両名の専従を解除し、本部はいま何を企んでいるのか？この両名の後釜には、青年部の役員と総務部長を専従指定したと聞く。委員長の木村某も、この3年で使えないことが明らかになった。おそらく今大会で辞任するものとみられる。聞くところによると、前回よりもさらによい待遇での出向を望んでいるという。そして書記長の石井某は、まったく人に興味がなく、組合員はおろか会社にもまったく人望がない。本部からの方針を言葉的に垂れ流すしか能のない人であり、書記長として失格である。

すでに昨年幕張電車区に、東京・八王子地本でも地本役員の経験のある山崎某がやはり助役で転勤しているのである。これも地本執行部に入る可能性大である。さらに富塚暴力事件以降、千葉地本に常駐しているJR東労組本部中央執行委員の徳野某が三役候補として名前が挙がっていると噂されている。彼ら「本部派」は、このようにして千葉地本を作り変えることを画策しているのである。しかし、すべて外部注入である。彼らの目的は、将来を担う若い人の育成である。数年で、彼ら青年部を中心とした組織を作り上げるために、いまこの「組織転勤」を断行したといえる。まったく職場の組合員を無視し、各地方の特情を無視し本部の言いなりになる地方本部作りに向けて邁進しているのだ。このような彼ら「本部派」の暴挙を許してはならない。目を覚ませ！そして自問自答せよ！「労働組合とは何ぞや！組合民主主義とは何ぞや！労働組合とはどうあるべきなのか？」と。

【2006.6.7】千葉支社支社じゃあよー、地本の代議員に立候補した支部副委員長たちを別の選挙区に強制配転させて当選妨害したっつーじゃねーかよ！いくら公正な選挙じゃ勝ち目がねーからったってよー、あんまり汚ねー手え使うんじゃねえっつうの！深刻なのは、そうゆう千葉支社と本部官僚どもの結託体制だよな・・・

文中にある「使えない木村委員長」とは、3年前、小林委員長制裁の後釜として歴代委員長の代表として登場した人物である。また、「能のない石井書記長」とは、同じく3年前、篠塚書記長制裁の後釜として本部から派遣された人物である。もし、東労組千葉地本の組織固め(小林一派の根絶やし作戦)のために労使結託体制があったとすれば、ゆゆしき問題である。このほかにも千葉地本では、反本部派の東労組役員(運車部会役員、支部長、分会長)が千葉動労の「幕張車両センター錦糸町派出の存続署名」に協力したとして内紛を続けている。東労組の内紛は、この落下傘人事と相まって今後も続きそうである。